

【おんがく】^{ばそこん}パソコンなどで、みたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。

＜べんきょうすること＞

◆おんがくにあわせて、からだをうごかしながら『さんぽ』
（きょうかしよ 12～13 ページ）をうたいましょう。



※参考動画 https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/syougakkou_5_18_22.html

- (1) 『さんぽ』をききましょう。いっしょにうたえるひとはうたってみましょう。
- (2) おんがくにぴったりあうようにてびょうしをしながら1ばんをうたってみましょう。（12 ページしたのえをみて、おなじようにやってみましょう。）
- (3) いまのてびょうしを、おんがくの「はく」といいます。こんどは、「はく」にあうように、あしぶみをしたり、こうしんしたりしながら、もういちど『さんぽ』をききましょう。

※「さかみち」「とんねる」「いっぽんばし」などのところは、ことばにあわせてうごきをつけてもたのしいですね。

◆『さんちゃんが』（きょうかしよ 62 ページ）をきいたりうたったりして、えかきうたをたのしみましょう。

- (1) まずは、『さんちゃんが』をきいてみましょう。
- (2) つぎは、『さんちゃんが』のえかきうたのやりかたを、どうがでみてたしかめましょう。
- (3) えかきうたのやりかたがわかったら、どうがにあわせていっしょにかきながらうたいましょう。なれてきたら、すこしはやくしたり、めをつぶってかいたりしてたのしみましょう。

※えかきうたには、ほかにもいろいろなしゅるいがあります。おうちのひとにおしえてもらったり、しらべてみたりしてみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・足踏みや行進が難しければ、「腕を振る」「人形などを動かす」などでも構いません。子どもは、この曲で初めて『拍』を意識します。「拍にぴったり合っているね。」など、拍を意識して体を動かすことができている姿を大いにほめてあげてください。
- ・かぞえうたや手遊びうたは、楽しく遊びながら日本の音階に親しむことのできるものです。『さんちゃんが』の学習では、お家の方が知っている絵描き歌について教えてあげたり、一緒に調べてみたりするほかにも、お子さんの好きなキャラクターの絵描き歌を作ってみる活動なども考えられます。お子さんと一緒に楽しんでいただければと思います。